

会 議 録

会議の名称	第 1 回那珂川市国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和 7 年 7 月 29 日 (火) 18:55~20:00	開催場所	本庁舎 2 階第 1、2 会議室
出席者	1. 委員 羽良委員、吉永委員、福井委員、榊委員、藤野委員、黒崎委員、仲吉委員、小塚委員 2. 執行機関（事務局） 武末市長、中村部長、藤島課長、松原係長、本田、大熊係長、竹本		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 那珂川市国民健康保険事業について ・資料 2 保健事業について ・資料 3 令和 7 年度 国保運営協議会 開催予定 ・参考資料 1 令和 7 年度当初予算（歳入・歳出）概要 ・参考資料 2 国民健康保険事業特別会計 歳入・歳出項目概要 ・参考資料 3 那珂川市国民健康保険運営協議会規則 ・参考資料 4 那珂川市国民健康保険運営協議会委員名簿 		
議題及び審議の内容		記録者：本田	
1. 辞令交付 全員改選のため、出席者に委嘱日から令和 10 年 3 月 31 日までの委嘱状交付。			
2. 市長あいさつ			
3. 委員及び事務局の自己紹介			
4. 国保運営協議会会長・副会長の選任 会長に羽良委員、副会長に吉永委員が選任され、承認。			
5. 会長・副会長あいさつ			
6. 報告事項			
(1)国民健康保険事業について（資料 1）			
事務局から説明			
【質 疑】			
委 員：子ども子育て支援金分が新たに課税、徴収されるとのことだが、これはどのような形で市民に還元されるのか。医療費になるのか。			
事務局：子ども子育て支援金は子ども子育て事業に充当される予定。今出ている資料では、児童手当の抜本的拡充、妊婦のための支援給付、乳幼児のための支援給付、出産後の休業支援給付などがこども家庭庁で予定されており、その財源になる予定。			
委 員：令和 4 年度からの税率改定に対し市民からの反発はなかったか。			
事務局：令和 4 年度から 6 年度にかけて税率が大きく上がってきたことに対し、ご意見をいただくことはあった。ただ、国保の財政状況、国保事業が持続可能な形で維持できるようご説明させていただき、ご理解をいただいた。			

委員：今の件だが、負担が重くなったことで支払いが困難の状況になった方もおられると思うが、どれくらいの方が支払い困難になったか把握したデータはあるか。

事務局：税率改定により支払い困難となった方の人数や割合などのデータは持ち合わせがない。把握は難しいと思う。

委員：払っていただければ結局国保制度も成り立たない。どれくらいの方が払えないのか、分納相談から納付する方もおられると思うが、納付困難な状況にある方がどれくらいいるのか把握することは大事だと思うが。次回以降でもいいので資料出していただけたらと思う。

事務局：過程はわからない、分納相談されて納付いただいた分も含めてとなるが、最終的な収納率としては令和4年度から令和6年度にかけて大きく下がることも上がることもなかった。分納相談をいただいたり収納課から働きかけたりという動きは増えたのではないかと私としては思うが、どれくらい増えたのかということも数字としては収納課も持ち合わせていない可能性が高いと思う。

委員：福岡県全体の収納率は、以前悪かったが近年上がってきていると聞くと、那珂川市はどうか。

事務局：福岡県全体の収納率ということだと、人口が多いところ、福岡市や北九州市などはどうしても低い傾向にある。しかしそれが大幅に増減する傾向は他の自治体を見てもあまりない。那珂川市は令和3年度まで税率改定せず、令和4年度から3ヵ年で上げていったことで、収納率が大きく下がるのかなと事務局では思っていたが、それほど大きな変動はなかった。

委員：無保険状態の人、国保申請すると高額な保険料がかかるので申請できず、病気になるまで無保険でいる人の話も聞くが、無保険の人の人数は把握しているか。

事務局：国保加入者の人数はご承知のとおり把握しているが、国保に加入していない人についてはどこかの社会保険等に加入されていると認識しているところ。なかなか集計する手段がない。

(2) 保健事業について（資料2）

事務局から説明

【質 疑】

委員：AIを活用した分析に基づくアプローチの成果は出ているか。

事務局：AI分析によってタイプ別のハガキを送ったあと、電話勧奨を行った。電話の内容もタイプ別のアプローチができその電話で受診予約を受けるなど直接的に受診に繋がったケースもある。ハガキの内容を変えたから受診率が上がったという数字は出せないが、タイプ分けをしたことで重点的に攻める言葉を見つけて電話勧奨ができたと思う。

委員：受診勧奨をよくしてあるといつも思っている。歯科検診の受診率はどれくらいか知りたい。予防的受診をしていると重症化せず医療費抑制につながると聞くが。

事務局：今年度の事業になるが、20歳、30歳…と10歳きざみで「500円ワンコインで歯科検診が受けられます」というハガキを送っている。あくまでも健診で治療は受けられないが、かかりつけ歯医者がなく受診していない人の第一歩にはなるかと思っている。勸奨ハガキが届いて歯科健診を受けたい場合は連絡いただき、受診券を発行して受診いただくことになるが、実際に若い方から「この機会に歯医者に行ってみようと思っている」という声をいただいております、確実に受診率向上につながっていると思っている。

委員：予防的受診がどれくらい大事かということをあまり意識せず、痛くなったら治療すればいいかと思っている人も多いので、その辺の知識も案内の中で伝えていただけたらと思う。

7. その他

(1) 令和7年度 協議会スケジュールについて（資料3）

事務局から説明

質疑なし